

平成 22 年度事業報告

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

当協議会は、ユーザ側の視点に立った高度情報通信分野の施工技術・技能に関する人材育成及び情報提供を行うことを目的として事業を展開している。その中で、厚生労働大臣指定試験機関として情報配線施工技能に関する職業能力評価制度のひとつである技能検定試験事業を積極的に推進している。併せて、ユーザの立場に立ったワンストップ施工技術の普及を目指した情報ネットワーク施工プロフェッショナル認定（INIP）を通じた人材育成事業も強力に進めている。また、普及・啓蒙事業の一環として、より高度な施工技能に関する技能五輪等関連事業への支援活動を推進している。今年度は、これらの事業を行い人材育成ならびに技術の普及に努め社会的地位の向上を目指してきた。

I 人材育成・認定事業

(1) 技能検定事業

厚生労働大臣指定試験機関として、情報配線施工技能検定試験の公正かつ積極的な運営を行いました。今年度技能検定試験は、厚生労働省の承認を得た計画に則って、第1回第一次（1級・2級学科：平成22年5月30日）試験、同第二次（1級・2級実技：7月25日）試験を、第2回第一次（1級・2級学科：11月14日）試験、同第二次（1級・2級実技：平成23年2月6日）試験を実施した。3級試験（学科・実技試験同時実施）は受検者拡大のため年間3回開催を計画し、第1回試験は5月30日、第2回は9月26日、第3回は平成23年2月6日に実施した。今年度の新規技能士数は1,849名となった。

今年度の受検者増対策では、3級は工業高校、専門学校などの教育機関への広報活動を更に強化し、情報配線施工の技能検定資格の定着化を目指した。また、企業内社員教育の一環として技能検定試験制度を活用して頂くための広報活動をベースに企業や賛助団体への協力関係を強化した。その他、実技試験用練習部材や受検用教材としての過去問題集・テキスト等の販売、並びに受検対策講習会の開催を行い受検生へのサービス強化に注力した。

現在、受検者数も順調に増加し、技能検定事業の収支も改善した。

(2) INIP 認定事業

① INIP 認定試験の実施

今年度も引き続き、INIP 認定試験を実施してきた。

② INIP 認定者増施策

INIP 認定者向けに以下の事業を行った。

- ・認定者向け情報誌(INIP ニュース)の発行
- ・10月14日～15日池袋サンシャイン文化会館で開催されたリックテレコム主催のネットワーク工事機材展を後援し、会場内に協議会 PR コーナーを設置し教材販売等の広報活動を行い、来場した認定者には更新ポイントを付与した。また、地方在住認定者へサービスに努めた。

(3) 基金訓練事業

国の施策である緊急人材育成・就職支援基金事業を当協議会の事業として取組むこととし、平成23年7月25日開設を目途として検討し、電気通信工事関連コースの開設を3月31日に申請した。(平成23年5月10日付で申請は認定された)。

また、基金訓練事業者への講師委託事業を1月より開始している。

II 普及・啓蒙事業

普及・啓蒙事業の一環として、より高度な施工技術に関する技能五輪等関連事業への支援活動を推進した。

(1) 第48回技能五輪全国大会(神奈川県横浜市)への活動支援

第48回技能五輪全国大会の競技用部材の調達・提供や出場選手推薦など技能五輪支援活動に引続き積極的に協力し。また、技能五輪競技会の成績優秀者に対する技能検定1級実技試験免除を行った。技能五輪競技会向け練習用機材・部材の販売を行った。

(2) 第8回情報通信配線技術フォーラム2011

当協議会活動の普及・啓蒙のため、関連イベント・セミナー等への後援・協力を積極的に行った。これまで情報通信配線技術フォーラムは情報通信配線技術施工技術の普及・啓蒙及び人材育成に寄与してきた。来年4月13日～15日東京ビッグサイトで第8回目の情報通信配線技術フォーラム2011を第11回光通信技術展(FOE2011)と共催での開催を決定し、現在予選会出場者は24名で具体的準備を開始した。

(3) その他の活動

来年10月の技能五輪国際大会(ロンドン開催)「情報ネットワーク施工」競技職種開催に向け12ヶ国以上の参加登録を確保(開催条件)するため、職種連絡分科会を設けました。事務局は当協議会に設置し、活動を支援した。

以上